

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 主要施策  | 共に思いやり支え合う安心なまちを支える生活環境の充実 |
| 施策の柱  | 3 交通安全の意識高揚と防犯対策の強化        |
| 施策の分類 | 快適な生活環境                    |

## ■ 現状と課題

### ○交通安全

交通安全意識の高揚や交通安全マナー向上の取り組みについては、大半の町民が重要だと思っているものの、満足している方が多いとはいえません。特に、自転車通学する中学生や高齢者の自転車での交通マナーが良くない地域や、迷惑な路上駐車が多い地域があります。さらなる町民の交通安全に対する意識高揚が必要です。

また、交通量の多い交差点等でも信号機のない場所や、ガードレールが不十分な場所があります。特に本町地区は交差点が多く、交通量が多いため、交通事故が起きる危険が高いところです。

高齢者の通行についても、信号無視や、道路の真ん中を通行するなど、またシルバーカーの普及もあり、事故の危険が高いといえます。

### ○防犯対策

駅前や学校等の大きい施設には、多数の自転車が置いてあり、盗難の危険があります。

また、最近では町内、町外を問わず農作物の盗難事件があります。当町では農家が多いので注意が必要です。また、農家では、日中家に鍵をかけずに外出している家庭が多く、空き巣等の被害に遭うことが考えられます。

また、未成年者が夜中に駅周辺を徘徊している事があり、犯罪に巻き込まれる可能性も考えられます。

さらに、少子高齢化による高齢者の独居世帯の増加に伴い、振り込め詐欺や悪質商法の被害にあう事が懸念されます。

## ■ 目指す姿（基本方針）

- 町民一人ひとりが交通安全への強い意識を持ち、危険箇所へは必ず安全施設が設置され、高齢者や子どもへの声かけによる啓蒙啓発がされた、交通事故のない町を目指します。
- 住民へ防犯対策について説明する機会を設け、警察等関係機関と連携し、悪質商法や振り込め詐欺等の情報を地域や学校等で広く共有し、高齢者や子どもの犯罪被害防止に努め、犯罪の無い町を目指します。

## ■ 施策の内容

- 交通安全協議会や警察署等の関係機関と協力しながら、交通安全教室や交通安全決起大会などを開催し、町民の交通安全意識をさらに高めます。

交通マナーが悪い子供には、注意をするのも当然ですが、注意をされても怒らない、人の言う事を素直に聴く事を教える事が必要です。そのためには家庭での教育が最も重要ですので、大人に対しての意識高揚を優先的にを行います。

高齢者に対しても、交通ルールの遵守を家庭や地域で見守るよう、努めます。

また、関係機関との連携により、危険と思われる箇所にはミラーや信号機等の交通安全設備の設置を推進し、シルバーゾーン等看板の設置により注意喚起の呼びかけをします。

- 防犯連絡協議会と連携しながら、犯罪を防止するために町民のモラル向上に努め、被害にあわないための注意を喚起します。自転車の盗難や空き巣被害を防ぐために、自転車や外出時の施錠を呼びかけます。農作物の盗難を防ぐために畑での広報活動や、看板の設置を行います。

また、小中学校での防犯教室等の開催により、犯罪をしない、犯罪にあわない町を目指します。

未成年者が夜の外出をしないように、警察署等の関係機関と情報を共有し、見回りを強化していきます。

夜の外出は翌日の起床時間を遅らせ、朝食を抜く子どもが増える可能性がありますので、朝ごはん条例を守ってもらうためにも、夜の外出を控える指導をしていきます。

独居高齢者への声かけや登下校時のあいさつ運動等による地域全体での防犯体制づくりを推進します。

担当：町民生活課

## ■ 目指す指標

|            | (平成23年) |   | (10年後) |
|------------|---------|---|--------|
| 町内交通事故発生件数 | 約 195件  | → | 0件     |
| 町内刑法犯発生件数  | 約 57件   | → | 0件     |

五所川原警察署より